

1. 竣功せる大師橋遠望（下流神奈川縣側より）

大 師 橋 架 設 工 事 概 要

神奈川縣土木部道路課

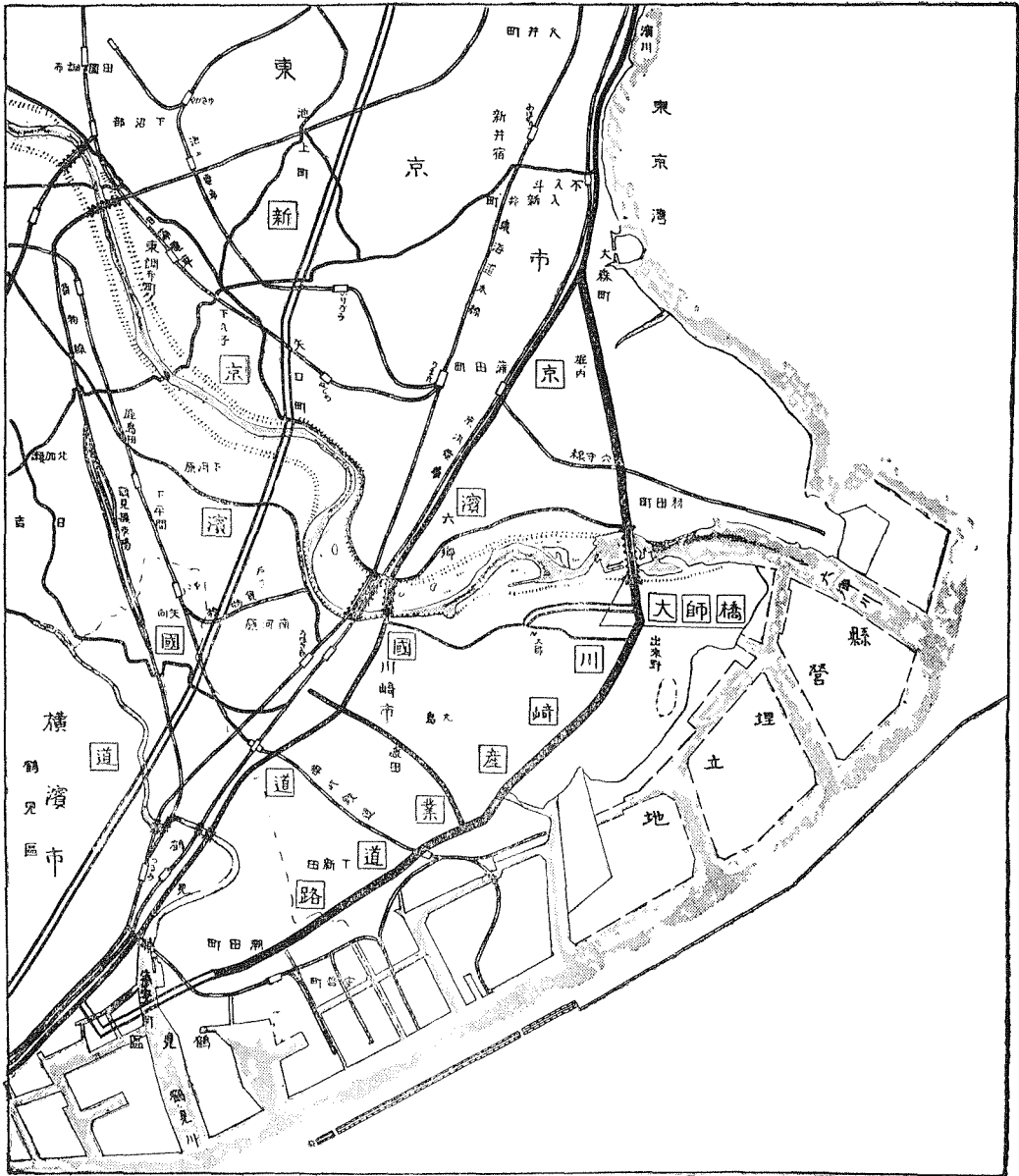
大師橋は東京、神奈川の兩府縣界を流れる多摩川の清流に、兩府縣の負擔で架設した橋梁である。

遠く古を尋ぬるに本橋に該當する渡船は徳川の初期の頃より存したものであるが、東海道の迂回路として幾分知られて來たのは徳川の末期で、殆んど羽田大師河原の一地方的の渡船場に過ぎ無かつたようであるが、京濱國道の交通量が飽和點に達せんとするに至つて愈々本橋架設の急務なるを認め、昭和9年度豫算に計上せられ、同11年に着工される運びとなつた。此を契機として何人も手を付けざりし、附近一帶の沼澤地は大工場地帯となり、橋梁上に立つて神奈川、東京の海岸地帯を望む時、何人かその發展振りに感嘆せざるものがあるか。

昭和14年10月本橋竣功するに及び、嘗ての名も無き渡船場は今や帝都と鶴見、川崎工業地帯とを結ぶ大動脈とならんとしてゐる。京濱國道の交通を緩和し、且つ完成近き川崎産業道路及び大森大師河原線と共に京濱工業地帯の發展を助長し、交通上一大革新を齎し、産業開發に資する處絶大なるものがある。

計 畫 の 大 要

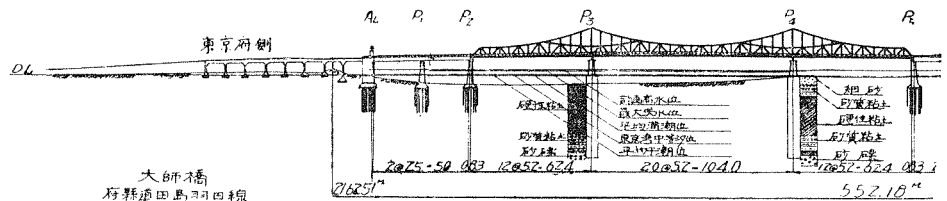
路 線 名	府縣道大森大師河原線（東京府側） 府縣道田島羽田線（神奈川縣側）
位 置	東京市蒲田區羽田町川崎市大師河原上殿町 入會
河 川	多摩川（六郷川）
橋 長	553.68米
有効幅員	16.00米 内車道11.00米 歩道 2.50米2連
型 式	ゲルバー式鋼鈹桁橋 25.00米2連 吊塔付ゲルバー式鋼構橋228.80米 内 { 中央徑間 104.00米1連 側 徑 間 62.40米2連 ゲルバー式鋼鈹桁橋 29.70米2連 同 23.50米9連
設計荷重	内務省規定第一種荷重
床 版	鐵筋コンクリート造
舗 装	車道 アスファルトコンクリート 歩道 セメントコンクリート
高 欄	壁體 鐵筋コンクリート、笠石 花崗石
總 工 費	130萬圓 一平方米當り 147圓
工 期	着手 昭和11年3月 竣功 昭和14年10月



一 般 平 面 圖

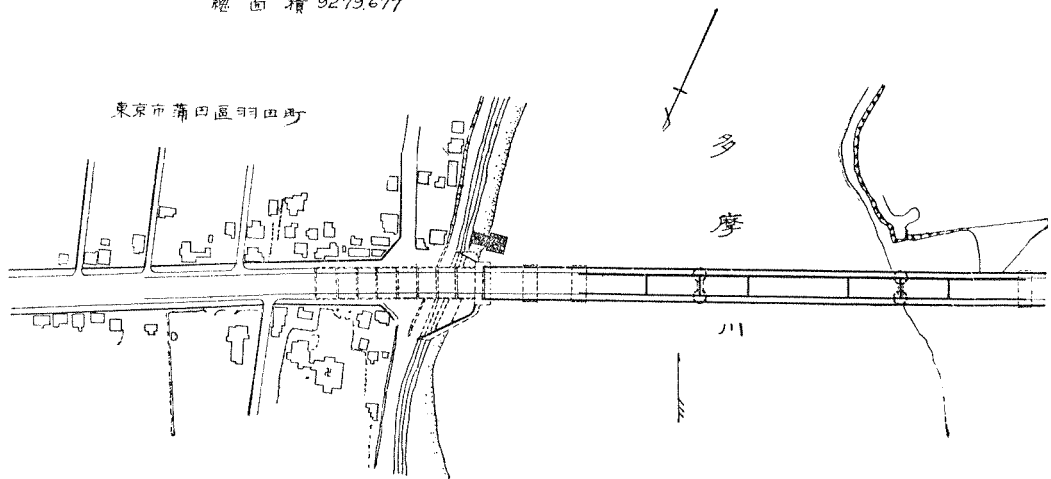
大師橋

側面圖



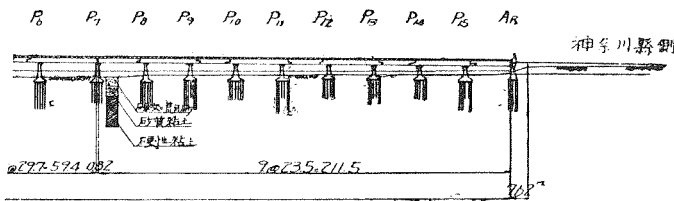
大師橋
 府縣道田島羽田線
 多摩川(六脚川)
 橋長 552.18^m
 有効幅員 16.00^m
 内車道 11.00^m
 歩道 2.50^m
 有効橋面積 8358.88^m^2
 總面積 9273.677^m^2

平面



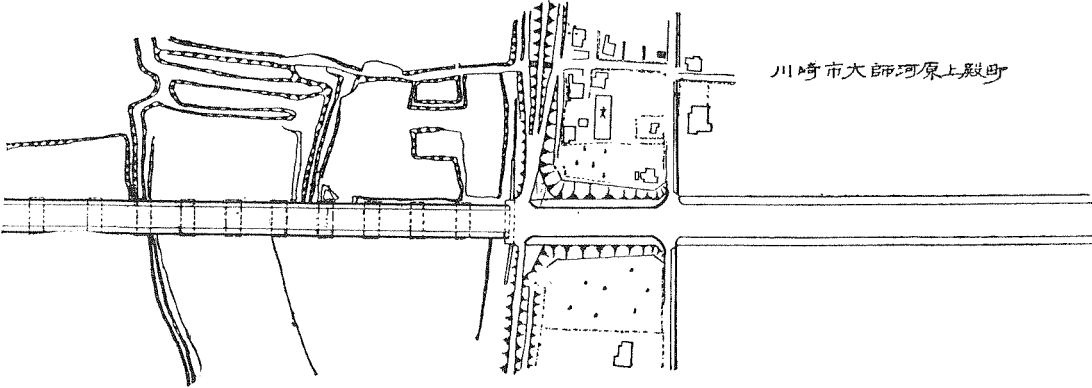
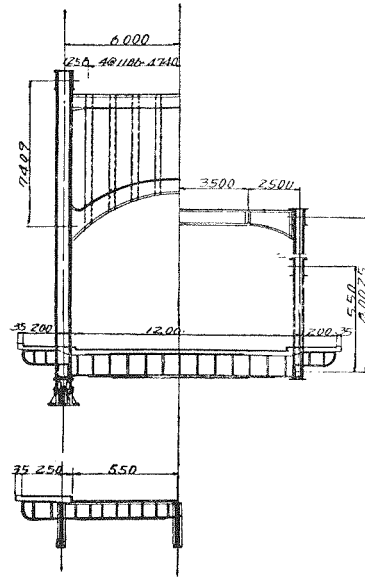
一般

縮尺 1/2000



平面

横断面圖



平面